

高い生産性を実現するXpertJetシリーズのフラグシップモデル
エコソルベントプリンタ「XpertJet1682SR Pro」

大型・高密度プリントヘッド「AccuFine」に新たに加わった多ノズルタイプの「AccuFine HD」を2基搭載。スピード重視の4色ダブル仕様で圧倒的な生産性を、高色域印刷の8色仕様で豊かな表現力を実現します。

搭載するエコソルベントインクには、発色性、耐水性、そしてメンテナンス性に優れた「MS41」を採用。

「MS41」は「UL GREENGUARD Gold」認証を取得しており、清潔で健康的な室内空気環境の実現に貢献します。環境に配慮した、オペレーターにも優しいインクです。



XpertJet 1682SR Pro
Eco Solvent Inkjet Printer

高い生産性を実現する
XpertJetシリーズのフラグシップモデル

Media width Max:1625mm
Media width Min:102mm

CMYK+L+M+K+R CMYK x 2

屋内外のサイン、展示会のグラフィック、カーラッピング、POPなど、
さまざまな市場に最高品質の“Made in Japan Quality”をお届けします。

概要 (2023年6月28日現在)

商号	MUTOHホールディングス株式会社 (英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)	グループ事業内容	・情報画像関連機器 (大判インクジェットプリンタ・3Dプリンタ) の開発・製造・販売 ・情報サービス (CAD・システムソリューション、ソフトウェア) の開発 ・設計製図計測、制御機器の開発・製造・販売
設立	1952年 (昭和27年) 3月5日 (創業: 1942年 (昭和17年) 12月)	ホームページ	https://www.mutoh-hd.co.jp/
資本金	101億99百万円		
本社事務所	東京都世田谷区池尻三丁目1番3号 電話 03-6758-7100 (代表)		

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	【株式に関する住所変更のお手続きについてのご照会】
定時株主総会	毎年6月	証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
基準日 期末配当	毎年3月31日	証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記電話番号先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、左記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。
中間配当	毎年9月30日	【住所変更、単元未満株式の買収・買増等のお申出先について】
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載 https://www.mutoh-hd.co.jp/ ※やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社	【未払配当金の支払について】
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	【特別口座について】
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)	株主電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構) を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社(特別口座)を開設しております。
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/	特別口座についてのご照会および住所変更のお届出は、左記の電話番号先をお願いいたします。
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal	

MUTOHホールディングス株式会社

Business Report

2022年4月1日から2023年3月31日まで

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、2022年度 (第74期) の業績および当社グループにおける取り組みにつきまして、ご報告申し上げます。

MUTOHホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯邊 泰彦



事業の経過および成果のご説明

2022年度 (第74期) の業績および当社グループにおける取り組みにつきまして、ご報告申し上げます。

本年度における世界経済環境は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、資源価格の高騰をはじめとするインフレ進行、各国の金融引き締め政策等による景気後退に対する警戒感が高まる一方で、3年にわたるコロナウイルス感染症拡大の鎮静化傾向に伴う活動制限の緩和とともに物流リードタイムの改善、サプライチェーン混乱の収束が進んでいます。

このような状況のなか、当社グループは、開発・製造・販売の革新による収益性の改善、適正在庫運営、保有資産の圧縮、固定費の抜本的見直しなどキャッシュ・フローを重視した施策に加えて、新製品による粗利構造改革を推進してまいりました。さらに、働き方改革に取り組みとともに、インターネットを活用した営業活動など新しい経営の姿を模索してまいりました。

設計計測機器事業ならびに3Dプリンタ事業においては、同事業間の新たな連携により、CADから3D出力までのトータルサービスを提供する「教育機関向けMUTOHパッケージ」を商品化、国内におけるデジタル化教育のニーズに応えるソリューションとして販売展開しております。また、前期より同事業の主力製品の製造を外部委託先から自社の諏訪工場 (長野県) に集約し、大判インクジェットプリンタを含む品質・生産管理や調達の一元化・生産の平準化により、品質の向上、コストの削減に向けた改革を推進中です。

一方、主力事業となる大判インクジェットプリンタ事業においては、当社グループの製品価値向上、市場競争力強化に繋げるため、UV-LED照射器を核とした光源技術を応用し、インク硬化用・照明機器用・半導体製造装置用等の照射器や検査装置の企画・開発・製造・販売を行っているアプスピード株式会社を当社グループの傘下とし、2023年4月には中核事業会社の武藤工業株式会社に吸収合併することにより、技術・ノウハウの共有、人的交流を加速させ、競争力のある製品開発および新規事業の可能性の探求をより一層推進しております。

また、米国において9月にPRINTING United Alliance (米国印刷工業会) の主催する「2022 Pinnacle Product Award」を11年連続で受賞し、欧州においても10月にデジタルプリンティング業界における最も信頼できるソリューションを提供する企業として認識されているキーポイントインテリジェンス社により「クラス最高」と認められる「BLI Pick Award 2023」を受賞いたしました。

MUTOHは、メイド・イン・ジャパンの高品質な設計と製造、そして最高のサービスを誇りとした品質に妥協することのない、常に高い印刷品質・生産性、信頼性を最優先事項として製品開発に取り組み、世界各地で高く評価されています。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は年度前半では、一部主要部品の供給課題が継続し製品出荷に影響が出たものの、販売機会の損失を最小限に抑え、年度後半からの製品価格改定と為替の円安による押し上げなどにより、167億94百万円 (前年同期比6.0%増) となりました。

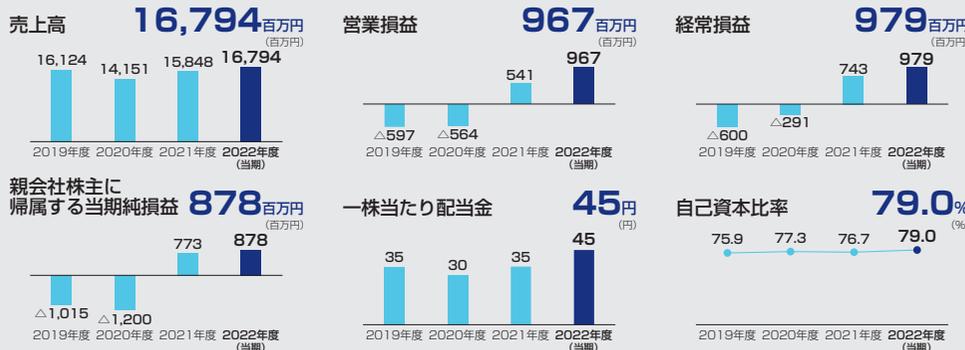
利益面では、営業利益で継続した原価率改善の取り組みと価格改定等により9億67百万円 (前年同期比78.6%増) となり、前年同期に対して大幅増益となり、経常利益は、9億79百万円 (前年同期比31.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等調整額 (益) を2億12百万円計上したことにより8億78百万円 (前年同期比13.5%増) となりました。

なお、2024年3月期の通期業績予想は、ウクライナ情勢その他の地政学的リスク、原材料価格の値上がりが続く一方、インフレ進行に伴う各国の金融引き締め政策による景気後退が懸念されるなか、当社グループは、持続的な増収を基調とした安定収益基盤の確立による通期営業利益の改善を最重要課題として事業構造改革に取り組んでまいりました。

以上により、売上高172億円、営業利益9億9千万円、経常利益10億2千万円、親会社株主に帰属する当期純利益6億8千万円を見込んでおります。

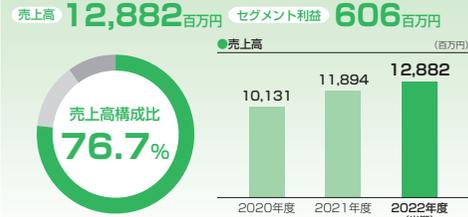
また、次期の配当につきましては、業績に応じた配当を継続的かつ安定的に実施する基本方針の基、1株当たり年間55円 (中間配当25円、期末配当30円 (年間10円増配)) を予定いたします。

連結決算ハイライト



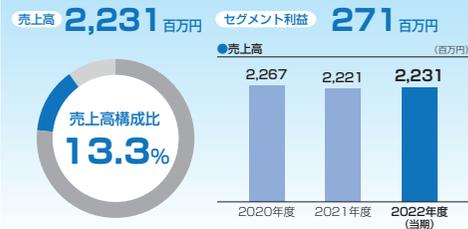
事業セグメントの概況

情報画像関連機器事業



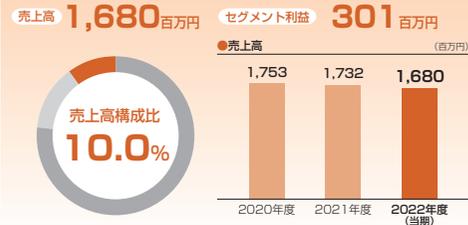
物流コスト、原材料価格高騰等が収益に影響を及ぼしましたが、原価率改善の取り組み等の収益構造改革、さらに為替の円安による押し上げ効果により、事業全体では、売上高128億82百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益6億6百万円（前年同期比169.3%増）と前年同期に対して増収増益になりました。なお、各地域別の経営成績は以下のとおりです。
アジア地域：売上高38億92百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益4億46百万円（前年同期比82.4%増）となりました。
北アメリカ地域：売上高37億71百万円（前年同期比22.1%増）、セグメント利益1億23百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。
ヨーロッパ地域：売上高52億18百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益35百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

情報サービス事業



販売は堅調に推移し収益性の改善取り組みにより増益となり、売上高22億31百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益2億71百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

設計計測機器事業、不動産賃貸事業ならびにその他の事業



(設計計測機器事業)
 年度末需要の減少および原材料価格の高騰の影響により減収減益となり、売上高12億55百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益1億70百万円（前年同期比29.9%減）となりました。
(不動産賃貸事業)
 所有不動産の一部を自社利用物件から賃貸物件へ転用したことにより増収となり、売上高2億19百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益1億78百万円（前年同期比0.4%増）となりました。
(その他の事業)
 減収減益となり、売上高2億5百万円（前年同期比13.0%減）、セグメント損失48百万円（前年同期は21百万円の損失）となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当年度	前年度
	2023年3月31日現在	2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	17,768	16,296
固定資産	9,548	10,377
有形固定資産	3,435	3,308
無形固定資産	151	83
投資その他の資産	5,962	6,985
資産合計	27,316	26,674
負債の部		
流動負債	3,592	3,897
固定負債	1,317	1,533
負債合計	4,909	5,430
純資産の部		
株主資本	22,755	22,025
その他の包括利益累計額	△1,175	△1,573
非支配株主持分	826	790
純資産合計	22,406	21,243
負債・純資産合計	27,316	26,674

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当年度	前年度
	自 2022年4月1日 至 2023年3月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
売上高	16,794	15,848
売上原価	10,346	10,347
販売費及び一般管理費	5,481	4,958
営業利益	967	541
営業外収支	11	201
経常利益	979	743
特別利益	4	746
特別損失	0	274
税金等調整前当期純損益	983	1,214
法人税等 他	△104	△440
親会社株主に帰属する当期純利益	878	773

TOPICS

Value3D MagiXシリーズFFF方式2機種の販売を開始

Value 3D MagiX MF-900

“万全のサポートサービスと使いやすい日本語対応ソフト”
 安心の日本品質デスクトップ3Dプリンタ

Value 3D MagiX MF-2200S

カーボン繊維入りフィラメントも使用できるスタンダードモデル。

三次元測定の学習教材としても利用可能な教育向け3Dプリンタ。



独立式デュアルヘッドを搭載。目的に合わせて使い分けができます。



高温ヘッドに交換すると、カーボン繊維入りフィラメントが使用可能です。カーボン繊維入りフィラメントは、軽量で強度と耐久性が高く剛性のある部品が造形可能です。



左エクストルーダには3D造形用のプリントヘッド、右エクストルーダには計測学習用のダイヤルゲージを搭載。



熱溶解積層方式
 ヒータ付テーブル
 デュアルヘッド



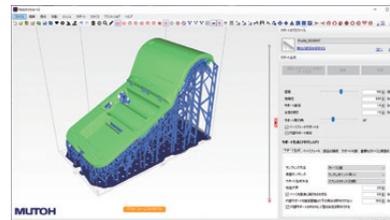
サンプルはもちろん、治具や工具、部品製造でご利用いただけます。



3Dプリンタでの造形と、三次元計測における公差や誤差、測定手順や分析の重要性など技術育成が可能な学習ツールです。

熱溶解積層方式
 ヒータ付テーブル

光造形方式3Dプリンタ「ML-130」の販売を開始



専用ソフトウェア

スライサーソフト「MUTOH Slicer」が付属。最新版（Ver2）では処理能力の向上で作業時間を短縮、さらに操作性を一新し、より快適な操作が可能となりました。

■主な新機能

- サポート柱の自動処理がさらに性能アップ
- サポート柱の干渉箇所をハイライト表示
- スライスデータ処理スピードがVer1と比べ25倍アップ（当社比）
- データ画面とコマンド画面に別れた新しいインターフェイス

Value 3D MagiX ML-130

光造形方式 吊り下げ方式 底面交換型 LCDパネル



■簡単に取り外せるサポート柱

サポート柱が大幅進化。ワンタッチでサポート柱の取り外しが可能、簡単かつ綺麗にサポート柱を除去できます。



DLP方式による美しく滑らかな造形、オープンレジン方式による自在な材料選択など、さまざまなニーズに応える光造形3Dプリンタです。